

高品質なウンシュウミカンを連年安定生産するための 土壌と樹体の一体管理技術体系

ウンシュウミカンの隔年結果を軽減し高品質果実を安定的に生産するための、マルドリ方式および弱せん定・後期重点摘果を中心とした土壌と樹体の一体的な管理技術体系を紹介します。

☆ 技術の概要

1. 土壌養水分環境を適正に維持管理するため、透湿性シートマルチと点滴かん水施肥(マルドリ方式栽培)を行うとともに、計画的(通常は2~3年に一度)に高圧剥皮機を利用したタコツボ処理による土壌改良を実施します。
2. せん定期を遅らせ、開花期前後に極めて軽くせん定を行う(弱せん定)とともに、摘果時期も遅らせて着果負担を十分にかけてから摘果を行う(後期重点摘果)ことにより、下垂着果する果実が多くなるように管理します。
3. これらの技術を複数の園地に導入し、連年栽培を継続することにより、高糖系品種および早生品種において、隔年結果軽減や果実糖度向上などの結果が得られています。

連年結実型樹相への転換



☆ 活用面での留意点

1. 詳細については、近畿中国四国農業研究センターにお問い合わせください(電話 0877-63-8107)。また、Web上(<http://www.naro.affrc.go.jp/warc/index.html>)で pdf 形式の資料を配布しています。